学校番号	1004

令和８年度　数学科

教科	数学科	科目	数学Ｃ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	数学Ｃ（数研出版）						
副教材等	NEW ACTION LEGEND 数学Ｃ（東京書籍） 新課程　教科書傍用　サクシード　数学Ｃ（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・「課題を理解する→結果を予想する→解決の方向を構想する→解決する→解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった一連の過程で、自分の考えを発表したり、議論したりする活動を行います。
・ノートは ①教科書用（授業用）、②問題集サクシード課題提出用、③参考書 NEW ACTION LEGEND 課題提出用、④テスト直し用 の 4 冊を準備してください。授業では主に教科書・サクシードを使用するので、毎回必ず持ってきてください。NEW ACTION LEGEND は、主に家庭学習に利用します。
・自宅学習における課題は、定期的に提出してもらいます。サクシードは定期考査ごと、NEW ACTION LEGEND は長期休暇ごとに範囲を指定するので、提出日に遅れないよう計画的に取り組んでください。
・問題集の問題をまず自分で解いてみましょう。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。また、各自答え合わせをしてください。答え合わせは、自分がどこでつまずいたかを知るための大切なものです。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，知識を身に付けている。事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。
【思考力、判断力、表現力等】
事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身に付けている。
【学びに向かう力、人間性等】
平面上のベクトル，空間のベクトル、複素数平面，式と曲線に対して関心をもつとともに，それらを事象の考察に積極的に活用し、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	平面上のベクトル，空間のベクトル、複素数平面，式と曲線における基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，知識を身に付けている。 平面上のベクトル，空間のベクトル、複素数平面，式と曲線において事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，平面上のベクトル，空間のベクトル、複素数平面，式と曲線における数学的な見方や考え方を身に付けている。	平面上のベクトル，空間のベクトル、複素数平面，式と曲線において関心をもつとともに，それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　平面上のベクトル	第1節 平面上のベクトルとその演算 1 平面上のベクトル 2 ベクトルの演算 3 ベクトルの成分 4 ベクトルの内積	a：ベクトルの意味や演算の仕方を理解している。内積の定義や図形的な意味を理解している。 b：内積の計算や図形の性質への活用ができる。ベクトルと数との違いや類似性について考えることができる。内積の図形的な意味を考察することができる。 c：ベクトルの意味や，演算の数との類似性に関心をもつ。内積の計算や図形的な意味を理解しようとする。	定期考査	定期考査 小テスト	提出課題 観察

		第2節 ベクトルと平面図形 1 位置ベクトル 2 ベクトルと図形 3 ベクトル方程式	a:図形の性質の証明や計量について，ベクトルを用いて行うことができる。位置ベクトルやベクトル方程式の意味を理解している。 b:図形の性質の証明や計量について，ベクトルを用いて考察することができる。 c:ベクトルを平面図形の性質の考察に活用しようとする。			
2学期	第2章 空間のベクトル	1 空間の座標 2 空間のベクトル 3 ベクトルの成分 4 ベクトルの内積 5 位置ベクトル 6 ベクトルと図形 7 座標空間における図形	a:空間での分点や平面上の点の表し方などや空間図形の性質の考察において，座標やベクトルを用いて処理することができる。空間座標やベクトルおよび分点の表記や演算を理解している。また，それを利用した図形の表し方を知っている。 b:空間に拡張した座標やベクトルを用いて，空間図形の性質などを考察することができる。 c:空間座標やベクトルに関心 をもち，それらを空間図形 の考察に活用しようとす る。	定期考査	定期考査 小テスト	提出課題 観察

	第3章　複素数平面	1　複素数平面 2　複素数の極形式と乗法、除法 3 ド･モアブルの定理 4　複素数と図形	a:複素数を極形式で表したり，その演算を図示したりすることができる。また、図形を複素数を用いて表したり，複素数で表された等式の図形的な意味を述べたりすることができる。複素数の演算の図形的な意味を理解している b:複素数を極形式で表示して，図形的な考察をすることができる。また、平面図形を，複素数を利用して考察することができる。 c:複素数を極形式を用いて表したり，複素数平面上に図示したりして，事象の考察に活用することができる。また、複素数を利用して，図形を表したり，その性質を調べたりしようとする。			
3学期	第4章　式と曲線	第1節 2次曲線 1　放物線 2　楕円 3　双曲線 4　2次曲線の平行移動 5　2次曲線と直線 6　2次曲線の性質	a:２次曲線の方程式を利用して，焦点・軸や接線などを調べることができる。２次曲線とそれを表す方程式について理解している。 b:２次曲線とそれを表す方程式とを関連づけて考察することができる。 c:２次曲線の性質などの考察 に方程式を活用しようとする。	定期考査	定期考査 小テスト	提出課題 観察

		第2節 媒介変数表示と極座標 7 曲線の媒介変数表示 8 極座標と極方程式 9 コンピュータといろいろな曲線	a:媒介変数表示や極座標を用いて，いろいろな曲線を表すことができる。また、曲線の媒介変数表示や，直交座標と極座標との関係を理解している。 b:媒介変数表示や極座標を用いて，事象を考察することができる。 c:媒介変数表示や極座標を用いて，いろいろな曲線を表すことに関心をもっている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度